

ゼミ活動報告 「5期生ファイナルプレゼン」

鮫島涼子

1月23日水曜日、最後のゼミで5期生のファイナルプレゼンを行いました。ファイナルプレゼンは、「宮川研究室を卒業する今の私、そして10年後の私へ」というテーマで1人7分間、どんな衣装や方法でプレゼンしても良いという宮川ゼミ伝統のイベントです。ついこないだ、4期生のファイナルプレゼンを見ていたはずなのに、もう5期生がプレゼンをする側になるんだなあという2年間があっという間だったことに改めて気付かされました。

さて、私は実は2年前からファイナルプレゼンをどういう形でするかは決めていました。写真の通り、最後は落語研究会に所属していたこともあり、着物を着て高座の上で自分プレゼンをしました。先生の計らいで出囃子まで鳴らしてもらって非常に満足です。

内容を決めるにあたって、何か6,7期生にもメッセージを残したいと思い、私が昔から一番悩んできた人間関係やコミュニケーションへのコンプレックスを語りました。昔の私はコミュニケーションにおいて、「面白い話をしないと」「相手の興味のある話題で話さない」となどと気負ってしまい、自分自身で会話のハードルを勝手に上げてしまった結果、何も話せなくなるということを繰り返してきました。大学生になってようやく、コミュニケーションってそんなに気負うものでもなければ、面白い話が出る人なんてそういないということに気がついてとても楽になりました。人見知りだったり、会話が苦手だという人が私のプレゼンで少しでもコミュニケーションへのコンプレックスが無くなればいいな、という想いで話しました。



5期生のプレゼンはそれぞれの個性がよく現れていたと思います。特によちんがインスタを使う斬新なプレゼンで笑いを取っていたのが面白かったです。5期生のプレゼンを見ていて感じたのが、みんな高校まで優等生で真面目で、もちろん努力もしていますが、どこか要領よくここまで来た、ということです。そして、自分たちのそういう真面目で要領のいいところに情けなさだとか、コンプレックスを抱えてきていたんだなと思います。これは、おそらく6期生や7期生にも共感した人が多いのではないかと思います。

ファイナルプレゼンをしてみて、こういう特別な場だけで、自分の内側の深い部分を出すのではなく、普段から先生や同期に赤裸々に自分の情けないところや後ろめたい感情をぶつけたいと思います。それで何がどうなるかはうまく言えないのですが、なんだか気持ちすがすがしく感じます。

6期生は来年ファイナルプレゼンを迎えるわけですが、ぜひ自分らしさを全開にしたプレ

ゼンをして下さい。ビデオに残るから下手なことしたら恥ずかしいな、とか考えずその時やりたいことをやって、伝えたいことを伝えて下さい。(ただし今度こそちゃんと7分に収めてね。)

打ち上げでは6期生の就活の話など話題が盛りだくさんであったという間の3時間でした。本当に楽しかったです。私は朝来た時もウルツとしており、5期生のラストゼミの最中もずっと泣いてしまっていました。2次会でやなぎーが涙したのを見てまた泣いていました笑

まだ4月から水曜にゼミに行くような感覚です。これからは社会人として後輩たちの活躍を見守っていきます。とは言うものの、卒業論文プレゼン、ゼミ旅行、卒業式後の打ち上げなどゼミ行事が今後も盛りだくさんなので、まだまだ現役ですよ！

卒業してもずっと先生の弟子で、宮川ゼミの一員です。帰って来られる場所があることは本当に幸せだと思います。今後ともよろしくお願いします。

